

近畿・四国

◇ 大阪支社 ◇
大阪市中央区淡
大路町3-2-8
トア第2ビル5F
☎06(6231)8036
FAX06(6231)8039

日本プロパンガス(本社・丸亀市、竹中努社長)は9日、丸亀市福島町53で「日本プロパンガス仮オートガススタンド」の運営を開始した。同市昭和町のスタンド併設充填所

「日本プロパンガス丸亀工場」の全面刷新事に伴うもので、同社は「タクシーのお客さまに不便をかけることが目的。工事中使用できないスタンドを補完するため簡易スタンドによる仮オートスタンドを新設した」としている。設備にカグラパーテックのオートコンポラージタイプ(2・9トバルク貯槽、ガス種オートガス)を採用。ラージタイプの設置は全業種で全国第1号となる。

日本プロパンガス

仮スタンドの運営開始

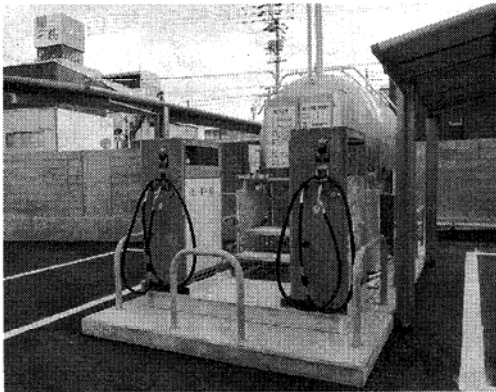
カグラ製大型オートコンポ 全国初導入

仮スタンドは、丸亀工場の工事が終了する11月ごろまで約10カ月稼働予定。日本プロパンガスでは以前から、工場で工場内のスタンドが停止するため仮スタンドの必要性

を感じていた。大西正孝常務は「仮スタンドは当社のタクシーのお客さまに迷惑を絶対にかけないという思いから」と話し、簡易スタンドの設置を高本一平・矢崎総業四国販売ガス機器部課長に依頼。過去、両社で高松市内の自動車学校にカグラ製「オートコンポ(1トタイプ)」を設置し、問題ない点を評価して今回もカグラ製を

導入した。「ラージタイプ」は貯槽容量が2・9ト(6400リットル)で、デイスペンサーを2基備えLPG車への2台同時充填が可能。「丸亀工場の設備は2台同時充填可能なものだったのでそれは最低条件」(両氏)とし、中型乗用車1台分程度の省スペースも評価している。

仮スタンドはJR丸亀駅から150メートルの立地で元、日本プロパンガスの旧本社ビルがあった場所。現在まで空き地だった。総工費3千万円弱掛けオートコンポ、機械室、駐在所、外構、アスファルト、カーポートを整備。中国工業にバルク貯槽をオーダーしてから約3カ月で全工程を終えた。丸亀工場でのオートガス販売は8日に一度終了し、9日から仮スタンドで販売を始めた。交代制で1人常駐し年中無休で運営、午前8時から午後8時まで店を開



ける。1日当たり80台への充填と、1台につき30リットルの充填を想定し月間約7万2千リットルの販売を見込む。ガスは専用バルクローリーを活用し、三豊市の日本プロパンガス託問工場から調達する。